授業科目	高次脳機能障害Ⅲ（臨床）				
担 当 者	森岡悦子・中谷謙・圓越広嗣・酒井希代江				（オムニバス）
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学　　年	２年	総単位数	１単位
		開講時期	前期	選択･必修	必修

■ 授業目的・内容

本講義では、医学的情報と高次脳機能評価で得られた結果を基に障害像をとらえ、障害機序に沿ったリハビリテーションプログラムを立案するための知識を修得する。

■ 到 達 目 標

１．医学的情報と検査結果から、高次脳機能障害の障害機序を論理的に考察することができる。
２．障害機序に基づき、適切なリハビリテーションプログラムを立案することができる。

■ 授 業 計 画

第１回　高次脳機能障害のリハビリテーション全般、注意機能のリハビリテーション　（酒井）
第２回　記憶障害の評価（WMS-R）の構成と実施手順の理解、解釈と症状のまとめ　（酒井）
第３回　記憶障害のリハビリテーション　（森岡）
第４回　半側空間無視のリハビリテーション　（中谷）
第５回　遂行機能の評価（BADS）の実施手順の理解　（圓越）
第６回　遂行機能の評価（BADS）の演習、解釈、症状のまとめ　（圓越）
第７回　遂行機能のリハビリテーション　（中谷）
第８回　認知症の病型別初期症状、環境調整　（森岡）

■ 評 価 方 法

筆記試験　100％

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

初回授業までに、「高次脳機能障害Ⅰ」「高次脳機能障害Ⅱ」の内容をよく復習しておいてください。
授業中に示された重要箇所をよく確認し復習してください。

■ 教　科　書

書　名：高次脳機能障害学　第３版
著者名：石合純夫
出版社：医歯薬出版株式会社

■ 参 考 図 書

書　名：よくわかる失語症のセラピーと認知リハビリテーション
著者名：鹿島晴雄、大東祥孝、種村純　編集
出版社：永井書店

書　名：高次脳機能障害ポケットマニュアル 第４版
著者名：原寛美　監修
出版社：医歯薬出版株式会社

書　名：症例で学ぶ高次脳機能障害
著者名：鈴木匡子　編集
出版社：中外医学社

■ 留意事項

授業中に分からないことがあれば、必ず質問をするようにしてください。
不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合がある。変更が生じた場合は、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。